

北千里駅周辺まちづくりタウンミーティング

北千里小学校跡地複合施設(案)の審議経過 と参加者との意見交換会♪

10月25日(木) 18時半～20時半

場所:北千里駅前ディオス M2
(ディオス1番館2階)

住所:吹田市古江台4-119
TEL:6871-0112

最寄駅:阪急北千里駅下車すぐ

参加費無料
事前申込不要*

※手話通訳の必要な方は、10月22日
(月)までに下記問い合わせ先までご連絡
ください。

北千里小学校の2009年3月31日の
廃校以降、周辺地区のみなさんは、北
千里駅周辺のまちづくりを様々なかた
ちで議論をしてこられました。

しかし、そのさまざまな案は、市長が
変わると方針が変わり…を繰り返して
いました。一向に進まない現状を奪回
すべく、2016年12月、3つの自治連
合会合同で「早期に公共施設の建設
を」という要望書が吹田市に提出され
ました。早2年が経とうとしています。
北千里小学校跡地に公共施設を建設
することは、多くの地域住民の皆さま

が切望しておられます！

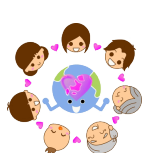
ただ、どこにどのような施設をもっ
てくるのか、「早期に！」といっても、行政
側が勝手に決めてそのプランを押しつ
けていいものでしょうか？！

今回、9月議会に提案された施設
(案)の内容は、地域間においても住民
間においても十分な議論はできていま
せん。また、行政の公正公平性に欠け
る動きも明らかとなりました。

この実態を知っていただき、ぜひ皆
さまのお声を聞かせてください！



一体、北千里地域の公共施設整備はどうなるの?!



<小学校廃校後…>

北千里小学校は2009年（平成21年）3月31日に惜しまれつつ廃校となりました。その跡地の活用については、地元連合自治会なども参加する北千里まちづくり協議会において約2年間議論され、校舎を耐震化し、公民館や図書館、中央公民館、児童センター、コミュニティプラザなどを整備する方針となり、2011年3月議会では関連予算が可決されました。しかし、同年4月に市長が交代すると、8月にその方針は撤回され、売却の方向性が示されたまま、校舎もグラウンドもしばらく放置されることに…。

<2015年5月以降の市の動き…>



2016年4月には、駅前千里北地区センターの再整備のための「北千里駅周辺活性化ビジョン」が策定されました。ティオス北千里など、駅前を再開発する際は、図書館や公民館を設置し、公共施設と商業施設を融合させ、賑わいを創出するという内容です。しかし、対象範囲はあくまで千里北地区センターのみで、北千里小学校跡地は含まれていませんでした。それを聞いた地域住民からは、北千里小学校跡地も一体的に整備すべきではないかとの意見も出ましたが、当時の行政は取り合いませんでした。その間、雑草が生い茂り、イタスラで校舎内に入りする人もいるということで地元の方々は治安や景観の悪化を憂慮しておられました。

<3地域からの要望書の提出！>

そうした中、2016年12月、地元の3連合自治会（古江台連合自治協議会、藤白台地区連合自治会、青山台連合自治団体協議会）の連名で、北千里小学校跡地への公共施設建設を求める要望書が市長あてに出されていました。その要望を受け、千里北地区センターの再開発の目途も立たないことから、図書館、公民館、児童センターの3施設からなる複合施

設の建設を計画し、この9月議会に設計業務を外部委託するための予算が提案されることになりました。

<9月議会提案内容は…>

本来なら地元からも喜ばれるはずですが、議会の会期直前に実施された地元住民向けの説明会では反発の声が続出します。「南千里や山田駅前の公共施設に比べ、小さすぎる」、「部屋数が足りず、利用者のニーズに対応できない」、「要望していた300人収容できるホールが計画されていない」などの声が寄せられました。また、藤白台地区連合自治会から、この予算に賛成しないよう求める陳情書が議会あてに提出されました。他の2地区からもバラバラの意見の要望書の提出もありました。迷惑施設でないにもかかわらず、反対の陳情書が出ることは極めて異例であり、他の要望書からも地域の意見がまとまっていないことが明らかとなりました。

<この異例な状態の原因は…>

この混乱の原因として、当初は11月議会への提出を予定していたものが、急きょ9月議会に提案したことが考えられます。市は、地元住民に対し、「合意形成されたら議会に予算を上げたい」と説明会等において説明しておきながら、8月に地元住民への説明会を行う前に、すでに、予算提案についての内部協議や予算要求等の手続を進めており、地元説明会開催は形式的にすぎないものとなってしまいました。それには、行政側の公平・公正を揺るがされる問題も明らかとなりました。さらに、もう一つの原因として考えられるのが、「北千里駅周辺活性化ビジョン」との整合性の問題です。

そうした内容を踏まえ、もう一度、議論すべきと提案しましたが、行政にその考えはないとのこと。「ビジョンは大きな方向性を決めたものであり、そこで決めたことを隣地で実行するだけで何ら問題ない」とする行政側の考えは地元住民と大きく乖離しているといえます。

このままではいいのでしょうか?!



市民と歩む議員の会

皆さま、ぜひともご意見・ご要望をお寄せください!! 地域の声をひろう市政の実現へ! 行政の決めつけではなく、住んでいる人々が主体的に考え、北千里のまちを活性化させませんか? ?